



やすひさの瓦版 (第111号)

Home-page <http://www.y-shiozaki.or.jp>

E-mail shiozaki@y-shiozaki.or.jp

2018年4月28日

自由民主党愛媛県第一選挙区支部長
衆議院議員 塩崎 恭久
〒790-0003 松山市三番町4-7-19
TEL089(941)4843 FAX089(941)4894

地に足を着けた政策で、未来への責任を果たす

時に夏を感じさせる日もある好季節となりましたが、お元気でお過ごしでしょうか。年度も替わり、多くの方々が進学、就職、異動など新しい環境でのスタートを切られたことと存じます。私も気持ちも新たに、皆様のお陰さまで今日の自分があることに日々心から感謝しながら、国政に打ち込む毎日です。

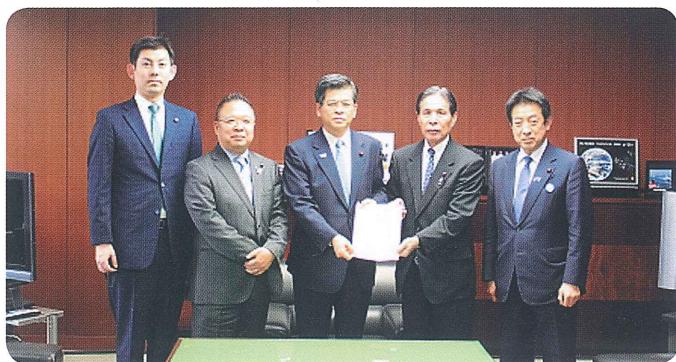
現在私は、自民党「データヘルス推進特命委員会」委員長、「党・政治制度改革実行本部」本部長、「児童の養護と未来を考える議員連盟」会長、「党税制調査会」インナーメンバーなど様々な立場から政策作りに専念し、昨年12月から30回を超える会合を自民党本部にて開催しています。

特に、日本のIT史上でも稀に見る大規模なITシステム開発となる予防、医療、介護の全面ICT化やがんゲノム個別化医療、AIフル活用などの「データヘルス改革」、「子どもの権利」と「家庭養育優先原則」の徹底により子どもの未来を守る「児童の養護と未来を考える議員連盟」、自民党を真に国民から信頼される政党にしていく「党・政治制度改革」など、日本の未来にとって極めて重要な、政治家としての使命を担わせて頂いています。引き続き、私たちの

▶「生活」や「暮らし」にも直結するこれらの課題に全力で取り組みます。

また、経済成長の果実を愛媛、松山に広げていくための取り組みも続けます。昨年の衆議院選挙でもお約束した、クルーズ船誘致による世界からのインバウンド受け入れ促進や、松山外環自動車道路33号線～11号線バイパス線の平成30年度事業化（約370億円）、松山港外港の防波堤延伸（+330m）及び岸壁延伸（+40m）等国際物流ターミナル整備（平成30～35年度、合計約67億円）などについても、北土居町など各々地元の方々の熱意と、多くの関係者のご協力のお陰さまで実現致しました。今後も魅力的な地域や職場・地場産業の育成や、県外からの企業誘致、起業家精神溢れる人材の育成など、人、教育、産業への投資のサポートを行います。

日本には素晴らしい底力があります。引き続き愛媛、松山の皆様をはじめとするあらゆる方々からの生の声を大事にしながら、地に足の着いた、真剣な政策立案を通じて、「未来への責任」をしっかりと果たしていきたいと思います。皆様からの変わらぬ温かいご指導、ご鞭撻を中心よりお願ひ申し上げます。



自民党松山支連が松山外環状道路「インター東線（仮称）」の平成30年度新規事業化に向け石井国交大臣へ最後の陳情、前向き発言を頂き、事業化実現。（2/22、東京・国土交通省）



「栄養士・管理栄養士による塩崎恭久後援会」を設立頂く。栄養士・管理栄養士の栄養指導により、「より健康に、より負担軽減」。（2/17、松山）

「やすひさ」が行く、見る、聞く



おはぎ会の皆さんと恒例の
昼食会。(1/14、松山)



慣れ親しんだ光月亭にて、虎武士の会の皆さんと区切りの語らいを噛み締める。(3/17、松山)



春の選抜大会出場の松山聖陵
高校を激励する。
(3/26、西宮市)



親しい仲間とお花見を楽しむ。
(3/31、道後公園)

塩崎やすひさ女性後援会

ひな祭りの集い



恒例の「塩崎やすひさ女性後援会ひな祭りの集い」を、各種女性後援会の交流会として開催。お楽しみゲームや趣向を凝らした出し物を楽しみ、いつも温かく見守って下さる皆さんと和やかなひと時をご一緒させて頂く。(3/11、松山)



田原総一郎さんをお迎えして、自民党が今後どのような改革を行すべきか等について、大所高所からご意見を伺う。
(2/14、東京・党本部)

「国際機関と医療現場の協力強化」

横倉義武日本医師会長が会長を務める世界医師会（WMA）とWHOが、協力強化のための了解覚書を締結。ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）、緊急災害対策準備システム、人材育成など多分野における協力関係強化を謳う。(4/7、WHO本部、スイス・ジュネーブ)



Topics

松山にクルーズ船を!!

厚生労働大臣室でアイデアが生まれ、最終的に決まった米国大型クルーズ船の松山港受け入れ。国交省の理解を得て、「平成30年度松山港クルーズ船受入環境整備事業」も正式にスタート。欧米からのインバウンドおよび日本人観光客などの受け入れ促進により、松山と愛媛に大きな経済効果をもたらすと期待されます。

公的年金ファンド等の在り方を問う



米国ニューヨークを訪れ、コロンビア大学・日本経済経営研究所



(CJEB)主催の第2回公的年金・ソヴリンファンドに関するカンファレンスにて基調講演。厚生労働大臣の際に法改正を行ったGPIF改革の軌跡と今後の課題に関し、その本質は何かについてお話しする。

(2/26、コロンビア大学・NY)

~あなたの声を政策に~ 参加者大募集!

ご近所やサークル、職場、ご友人など、お仲間の輪の中に塩崎やすひさが参ります。ぜひ皆さんの暮らしの「生の声」をお聞かせ下さい。

連絡先：塩崎恭久事務所
089-941-4843(早瀬・中田)

